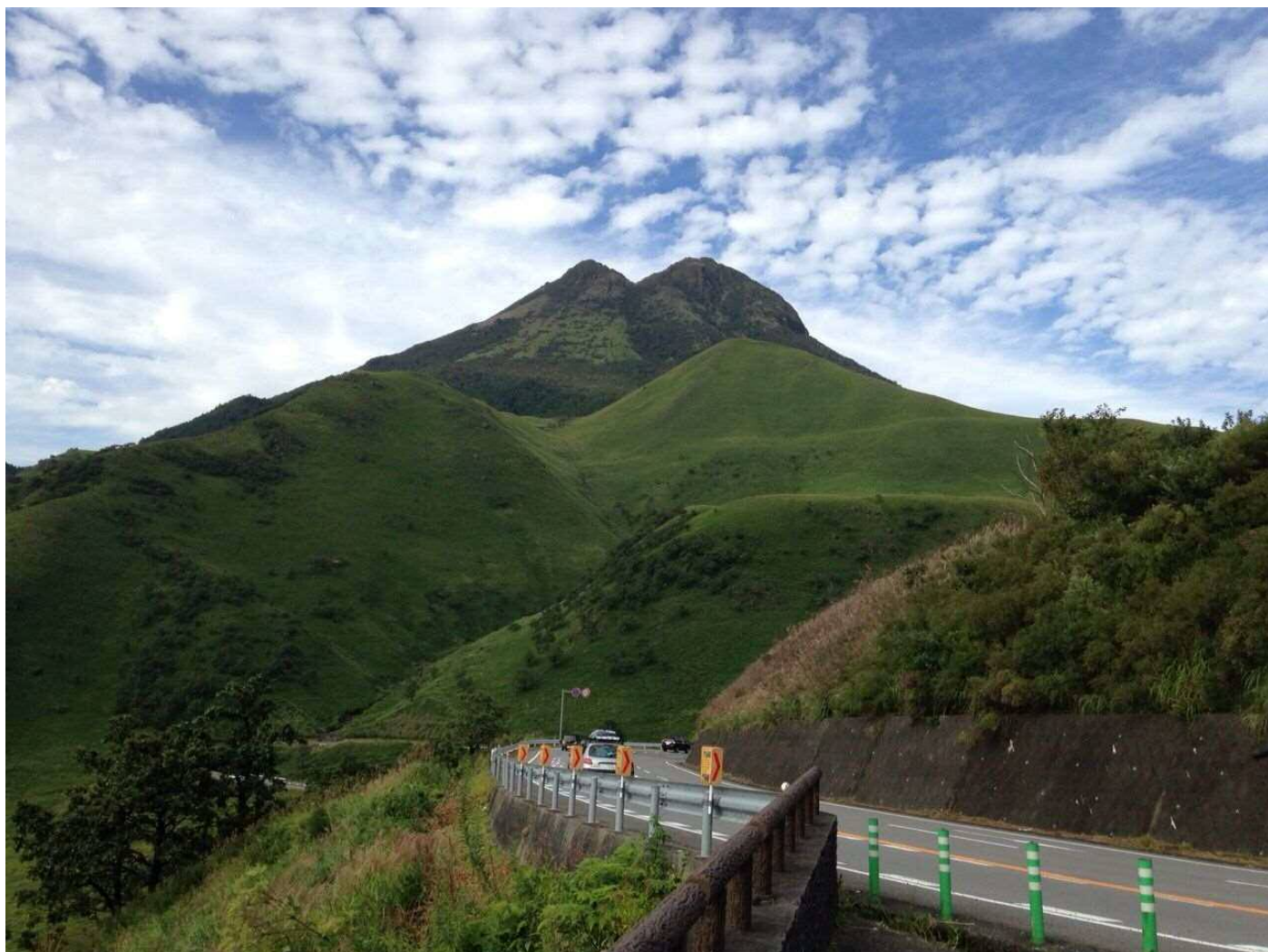


# のせ通信

株式会社 能勢建築構造研究所



『由布岳』

\* 由布岳 yufudake \*

東峰と最高峰の西峰の2つのピークからなり、山頂には1583.26mの一等三角点がある。円錐形をしていることから、豊後富士とも称される。由布院盆地では、各所から由布岳の独特な山容を望むことができる為、ランドマーク的な存在となっており、別府湾からも鶴見岳の後方にその姿を望むことができる。

古来より信仰の対象として崇められ、『古事記』や『豊後国風土記』にもその名が記されている。『豊後風土記』では、「柚富峯」と表記されており、その頂上には石室があつて常に氷が凍っており、夏を過ぎても溶けることがないと述べられている。宇奈岐日女神社(うなきひめじんじゃ)の御神体(御神山)である。

[以上 Wikipedia より]

# のせ通信

二〇一六年春 第九号

## 目次

- 酒とTVと本と
- 京都へ行った話とペットの話
- 魅惑の猫カフェ・再び
- 桜
- 思い出写真広場

## 酒とTVと本と

3月6日(日)

ようやく主夫業を終えて、酒を飲みながら録画しておいたまんが日本の昔ばなしを見る。酒は菊正宗生配造り樽酒で、最近はこちらがお気に入り。今日見た中では、「長者と河太郎」の話が良かった。人間とカッパが互いに違う生き物であることを認識しながらも互いに信頼し合い困難なことを成し遂げる、という内容の物語。

3月13日(日)

和泉市久保惣記念美術館に源氏絵と和歌展を見に行く。決して普段から源氏物語や和歌を愛読している訳ではなく、山口晃氏の「へんな日本美術史」を読んで一度やまと絵や白描画を見てみたかっただけである。一応、図書館から源氏物語の入門編的な解説本を借りて読んだが、何がおもしろいのか理解できなかった。嫁は漫画では読んだことがあり、横で解説してくれるのだが頑無視する。文学部を出ていながら漫画でしか読んだことが無いのはいかがなものか、と突っ込みを入れたくなったが、家庭の平和と安寧のために黙っておくことにする。江戸時代初期に描かれた源氏物語絵を2作品展示していたが、金泥を使用した金びかの派手な絵より淡い色の絵の方が好感がもてた。明治時代中頃の浮世絵による源氏絵も色がきれいであった。常設展ということもあり空いていてゆっくり見ることができた。日曜、祝日に特別展に行っても混んでいてゆっくり見られないので、これからは、仕事は若くて優秀な二人に任せて平日仕事を休んで見に行くことにしよう。へんな日本美術史は、平安時代から明治時代までの日本美術史について山口晃氏の私見を書かれた本で、明治以降本格的に西洋美術の習得が始まり、西洋の3次元的に正確に写実する技法を身につけてしまったために、それ以前の遠近を無視した2次元的な見た目の心地よさを表現することができなくなってしまった、こと等を書いてあり楽しく読めた。私の好きな月岡芳年氏のことも取り上げて、褒めてくれていたのもうれしかった。

二人とも晩ご飯を用意する気などサラサラ無いので、晩は家の近くのイタリア料理店に食べに行く。年に4回ここで食事をするのが楽しみで、スパーリングワインを飲みつつおいしい料理を頂く。



ブロッコリーの炒めもの



鴨のロースト

3月19日(土)

日、月と連休だと思つと気持ちが落ち着くので、伊集院静氏のエッセイ「ねむりねこ」を読みながらビールをゆっくり飲む。伊集院静氏のエッセイや短編集が好きで、他にも、エッセイ集であれば、「なぎさホテル」、「旅行靴にはなびら」、「短編集なら」受け月」がお気に入り、旅行や出張のお供にも丁度いい。嫁が横でウマカケバクミコ氏のポストカードを広げて見ているので、そちらも本を読みつつ見る。今年もウマクイク展が開催されるので今から見に行くのが楽しみ。去年始めて本人にお目にかかれたが緊張してうまく話すことができず、失礼なことをしてしまった。

3月20日(日)

酒を呑みながら録画しておいたドキュメント72時間を見るが、今回はつまらなかつた。ただ、神社プロデューサーという職業があることを始めて知った。

TVを見た後、久しぶりに榎本まみ氏の「督促OL修行日記」を読む。気弱な大学生だった著者が、やっとの思いで就職できた会社で、いきなり返済が滞っているお客様

に督促の電話をかけるという超ブラックな部署に配属され、周りの同僚が次々と心身を病んで辞めて行くのを見て一念奮起し、ツライ仕事を知恵と工夫で克服し生き抜く技術を身につけていく内容である。若手社員は是非一読し、自分がいかに恵まれた環境の職場に就職できたかを感謝し、このような社風を守ってきた上長に対してもっと尊敬の念を持って貰いたいものである。氏の2作目の「督促OL業務日誌」（文庫本版は「督促OL奮闘日記」に改題）も、お金と人間性にまつわる濃い話を書いてあり、おもしろかった。

3月21日（月）

土佐鶴を飲みながら、図書館から借りてきた前述した山口晃氏の作品集「前に下がる下を仰ぐ」を見る。作品集の中では、「来迎圖」、「大和撫子」、「日々の手ならし」が特に気に入った。ただ、氏のメインの作品は2M、3Mを超える大作が多く、図集では細かいところは分かりにくいしスケール感も掴めない。関西で個展を開く予定があれば、何とか都合をつけて見に行きたいものである。図集で見ると大和撫子くらいの大きさの作品が見やすい。薄く軽く引いた墨の線で輪郭をとり、そこに油絵具を水彩画のように薄く塗っていて、ド素人目には無造作に線を引いているようにしか見えないのにきれいな絵になっているのが好く、気に入っている。漫画風に日々の出来事を書いている「すっしろ日記」もユーモアがあり、読んでいる最中について顔がほころんで笑ってしまい、嫁から不審な目で見られてしまったこともあった。

3月27日（日）

明日からの仕事のことを考えると憂鬱になるので、ビールを飲みつつ、水曜どうでしょうクラシックの最終話、原付ベトナム縦断1800キロを見る。現実逃避は、これか、機動戦士ガンダム劇場版3部作を見るのが一番いい。水曜どうでしょうは何回見ても笑えるし気分転換になる。北海道のお笑い俳優（失礼か）が今は大河ドラマの準主役（大泉洋さんのことです）。大河ドラマもストーリーはそれなりにおもしろいのだが、主役の締まりの無いにやけた顔は何とかならないだろうか。嫁曰く、篤姫のバカ殿、みたい。

TVを見終わってから、牛山隆信氏と栗原景氏の共著、写真集「秘境駅」の美しい風景と駅舎を見ながらポーとしていたら、嫁が、早く寝ろ、という様な顔をしてこちらをにらんでいたのもう寝ることにする。

最後に文章が汚いので、よく散歩で行く神社の境内で見つけた桜の写真をどうぞ。



前回の記載から特にイベント事もなく何を書こうか迷っている時に運がよく、この季節。

そう、**桜の季節**です。

福岡は三月三十日に満開となりました。

そうなれば行くしかありません！

満開発表の翌日が金曜日でしたのでいざ突撃！

週末との事もありたくさんの方々で賑わっていました。



①ライトアップされた桜

そして、私らと言つと・・・

芝生の上に座つてビールとちよとしたおつまみを・・・

ただ一つ残念だったのは、桜の前を屋台で埋め尽くしていて、その屋台の光でせつかくのきれいな桜たちが目立ってないのです・・・

来年は屋台の配置を少し考え直していただけるといいかも？

この後私たちはと言つと・・・ 行きつけの居酒屋で飲みなおしました(笑)



ビールにおつまみ



#### 今期視聴予定アニメ一覧

- ・機動戦士ガンダムUC・ジヨジヨの奇妙な冒険 ダイアモンドは砕けない
- ・テラフォーマーズブリベンジ ・うしおとら
- ・少年アシベGO!GO!ゴマちゃん

※少年アシベが放映されるのは予想外です・・・(二十三年だそうです)

#### 前期の良作品

- ・僕だけがいない街 ・昭和元禄落語心中 ・亜人